

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」①>

年 組 号 名前

次の(1)から(5)までの にあてはまる数を書きましょう。

$$(1) \quad 15 + 100 = \boxed{} + 15$$

$$(2) \quad 30 \times 29 = 29 \times \boxed{}$$

$$(3) \quad (44 + 57) + 23 \\ = 44 + (\boxed{} + 23)$$

$$(4) \quad 25 \times 14 = 25 \times (10 + \boxed{})$$

$$(5) \quad 51 \times 3 + 19 \times 3 \\ = (51 + 19) \times \boxed{}$$

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」①>

年 組 号 名前 答え

次の(1)から(5)までの にあてはまる数を書きましょう。

$$(1) \quad 15 + 100 = \boxed{100} + 15$$

[ポイント]

計算のきまり $(\blacksquare + \bullet) = (\bullet + \blacksquare)$ を使しましょう。

$$(2) \quad 30 \times 29 = 29 \times \boxed{30}$$

[ポイント]

計算のきまり $(\blacksquare \times \bullet) = (\bullet \times \blacksquare)$ を使しましょう。

$$(3) \quad (44 + 57) + 23 \\ = 44 + (\boxed{57} + 23)$$

[ポイント]

計算のきまり $(\blacksquare + \bullet) + \blacktriangle = \blacksquare + (\bullet + \blacktriangle)$ を使しましょう。

$$(4) \quad 25 \times 14 = 25 \times (10 + \boxed{4})$$

[ポイント]

計算のきまり $\blacksquare \times \bullet = \blacksquare \times (\blacktriangle + \star)$ を使しましょう。

$$(5) \quad 51 \times 3 + 19 \times 3 \\ = (51 + 19) \times \boxed{3}$$

[ポイント]

計算のきまり $\blacksquare \times \bullet + \blacktriangle \times \bullet = (\blacksquare + \blacktriangle) \times \bullet$ を使しましょう。

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」②>

年 組 号 名前

さち子さんとよしおさんは、500円玉1枚をそれぞれもって文ぼう具店に来ています。次の(1)，(2)の問いに答えましょう。

- (1) さち子さんは、250円のはさみと120円ののりをまとめて買いました。おつりがいくらになるか計算しています。



さち子さん

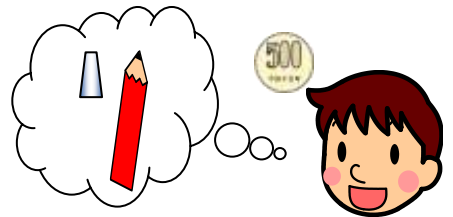
言葉の式に合うように、() を使って1つの式に表しましょう。
また、答えもかきましょう。

出したお金	−	のりとはさみの代金	=	おつり
	−		=	

計算コーナー

答え

- (2) よしおさんは、1本75円のえんぴつと、1こ25円のキャップを組にして買おうと考えています。500円では、何組買えるか計算しています



よしおさん

言葉の式にあうように、() を使って1つの式に表しましょう。

もっているお金	÷	えんぴつとキャップ 1組の代金	=	買える組の数
	÷		=	

計算コーナー

答え

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」②>

年 組 号 名前

さち子さんとよしおさんは、500円玉1枚をそれぞれもって文ぼう具店に来ています。次の(1)，(2)の問いに答えましょう。

- (1) さち子さんは、250円のはさみと120円ののりをまとめて買いました。おつりがいくらになるか計算しています。



さち子さん

言葉の式に合うように、() を使って1つの式に表しましょう。
また、答えもかきましょう。

出したお金	－	のりとはさみの代金	＝	おつり
500	－	(250 + 120)	＝	130

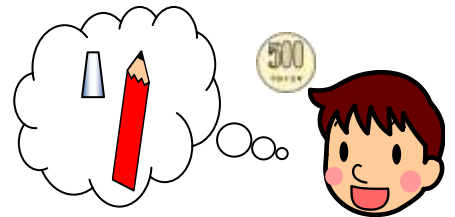
[ポイント]

代金にあたる部分がどこになるか考えましょう。代金にあたる部分を見つけたら、()でひとまとめにしましょう。

答え

130円

- (2) よしおさんは、1本75円のえんぴつと、1こ25円のキャップを組にして買おうと考えています。500円では、何組買えるか計算しています



よしおさん

言葉の式にあうように、() を使って1つの式に表しましょう。

もっているお金	÷	えんぴつとキャップ 1組の代金	＝	買える組の数
500	÷	(75 + 25)	＝	5

[ポイント]

1組のねだんがいくらになるか考えましょう。1組のねだんが分かったら、()でひとまとめにしましょう。

答え

5組

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」③>

年 組 号 名前

例にならって、(1)から(3)の式になるような問題をつくりましょう。

(例) $\underline{200 - 50 \times 3}$

太郎さんは、50円のリンゴを3こ買って、200円はらいました。
おつりはいくらでしょう。

(1) $\underline{1000 - 100 \times 5}$

(2) $\underline{50 \times 4 + 30 \times 2}$

(3) $\underline{(20 + 30) \div 5}$

基本問題 <小学校4年 「計算のきまり」③>

年 組 号 名前 答え

例にならって、(1)から(3)の式になるような問題をつくりましょう。

(例) $\underline{200 - 50 \times 3}$

太郎さんは、50円のリンゴを3こ買って、200円はらいました。
おつりはいくらでしょう。

(1) $\underline{1000 - 100 \times 5}$

(例)
あき子さんは、100円のえん筆を5本買って、1000円はらいました。
おつりはいくらでしょう。

[ポイント] 「100が5こ分」というグループを作って、全体(1000)からひく場面をイメージしましょう。

(2) $\underline{50 \times 4 + 30 \times 2}$

(例)
お母さんが買い物をしています、50円のトマトを4こ、30円のピーマンを2こ買いました。代金は、いくらでしょう。

[ポイント] 「50が4こ分」「30が2こ分」というグループを作って、その2つの合計を求める場面をイメージしましょう。

(3) $\underline{(20 + 30) \div 5}$

(例)
4年生は、男の子が20人、女の子が30人います。4年生みんな
で5つのグループを作りたいと思います。1つのグループは、何人になるでしょう。

[ポイント] 20と30を合わせて、その合わせたものを5つに等しく分ける場面をイメージしましょう。